

滋賀県議会議員

九里学レポート

Kunori Manabu Report

令和8年
桜花号
VOL.63

くらしのご相談やご意見など
ございましたらお気軽に

くのり学事務所へ

TEL077-558-1809/FAX077-558-0665

FBのアイコン Instagramのアイコン

日々更新中



kunori-try.jp

ホームページ

(事務所・自宅) 〒520-3001 滋賀県栗東市東坂409-3 ☎8313@kunori-try.jp <発行責任者/九里 学・編集責任者/米津 進>

みてネ!!



くろりんで身近な
ひらかれた県政のために

地道に!! 颯爽と!!

春らしく穏やかな気候に心安らく季節となりました。
県民市民の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
県議会での令和8年度施策や予算の審議を終え、
新たな組織編成や事業がスタートします。
『県民の県民による県民のための県政づくり』を
信念に“地道に!颯爽と!!”令和8年度も考動します。
お見かけの節は是非お声かけ下さい。

桜花咲く頃に

完全無所属
滋賀県議会議員 九里 学

くのり
まなぶ
学



※考動…考えて動くことの造語

九里学レポート

令和7年
12月末~3月

写真



環境農水常任委員会で有機野菜栽培方法
や6次産業化、自社校場経営を視察する
(12月23日~12月24日・熊本県)



滋賀県総合防災訓練に参加し、
災害救助や感電体験をさせていただく
(2月1日・野洲市)



つたやさん管理運営の武雄市図書館を視察
する (1月27日・佐賀県武雄市こども図書館)



サガン鳥栖の「駅前不動産スタジアム」
を視察し、「レイラック滋賀」リーグ
の運営方法を学ぶ (1月28日・鳥栖市)



「栗東市はたちのつどい」で794名の新成人
をお祝いする (1月11日・総ざさら)



歴史と伝統ある「第69回耐寒
アベック登山大会」に家族で
参加させていただく
(1月18日・金勝学区一円)



子ども食堂やバザーのお手伝いに毎年、
年末年始訪問している「こどもの里」を
訪ねる (12月31日、1月17日・大阪西成区)



「みんなの森ぎふメディアコスモス」
内の岐阜市立中央図書館を調査する
(2月9日・岐阜市)



いけばな池坊展にお招きいただく
(2月22日・栗東市民体育館)



県立高校卒業式にお招きいた
だく (3月1日・小野 国情高)



元朝尾別の日向山登山を行ない、
市民の皆様に新年を祝う
(1月1日・六地蔵)



予算特別委員会で審議する
(3月3日~11日)



消防記念日に県議会を代表し来賓挨拶をする
(3月7日・湖南広域行政組合 北消防署)



笹岡由梨子さんの展示を観覧する (2月21日・県立美術館)



草津・栗東・守山・手原の各駅で朝の県政報告をする (年中・不定期)



「新年賀詞交換会」で仲間や支援者の
皆様と交を深め、県政報告を行う
(1月12日・草津)

継続は力なり

令和8年度県新規事業等 (滋賀県民・栗東市民の要望を県へ届ける) 抜粋

- 新・子ども若者の防災意識向上事業** 2,231千円 (若者防災人材の発掘・育成と子ども若者に響く防災啓発を行う)
- 自治振興交付金** 508,688千円 (市町が49メニューの中から選択して行う事業や地域特性・課題に応じて県から財政支援する)
- 新・びわ湖ホール舞台芸術体験事業** 70,341千円 (県内小学生等をびわ湖ホールに招き、オーケストラ等すぐれた舞台芸術に触れる)
- 新・埋蔵文化財センター管理運営費** 59,716千円 (老朽化したセンターの公開・活用等の機能を強化する)
- 新・わた SHIGA 輝くスポーツ振興基金積立事業** 175,200千円 (国スポ・障スポのレガシーとして発展させ、県民のスポーツ振興を図ることを目的とした基金を積立する)
- ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画推進事業** 18,121千円 (適切な保護管理推進のため、市町への支援や生息状況調査、県民への情報提供を行う)
- 老人福祉医療費補助** 97,460千円 (低所得の高齢者にかかる医療費の負担を軽減するため市町へ財政補助をする)
- 新・不登校の子ども支援のアセスメント力向上研修** 1,328千円 (スクールカウンセラー、SSW、教員の研修支援をする)
- 新・不登校等子どもの相談支援強化事業** 60,840千円 (子どもと保護者の福祉増進を図るため不登校の相談体制を支援する)
- 保育所職員研修事業費** 48,490千円 (保育士不足解消と資質向上のため地域限定保育士を含め有資格者の増加を図る)
- 新・観光振興推進費** 796,441千円 (映像・大型イベント・インバウンド誘客等「観光」を推進力として滋賀県を活力あるものとする)【裏面九里学一般質問参照】
- 新・オーガニック近江米等プロモーション事業** 5,000千円 (オーガニック農業の拡大の柱「きらみずき」の情報発信を強化し展示会等経費を補助する)
- 新・「オーガニックといえば滋賀」ブランド化推進プロジェクト** 10,300千円 (オーガニック近江米等オーガニック農業の拡大をする)
- オーガニック農業推進総合対策事業** 37,920千円 (モデル地区創出を目指す市町や農業者を支援し、経費補助する)
- 中山間地域等直接支払交付金** 319,010千円 (耕作放棄地の発生を防止し、農業農村の多面的機能を確保し、農業生活活動を行う農業者に市町を通じ財政支援をする)
- 地方バス等対策事業** 269,789千円 (地域の生活交通を維持し、移動手段を確保するため県から市町やバス事業者に財政支援をする)
- 守山養護学校大規模改修事業** 21,780千円 (これまで野洲・草津養護に通っていた栗東の児童に対して新たに新設する守山養護学校を改修新設することで利便性向上を図る)
- 新・路線バス・デマンド交通の充実・高度化モデル事業** 30,000千円 (市町が実施するバス利用者に対してサービス向上につなげるために財政補助をする)
- 新・バス事業の高度化に向けた投資支援事業** 132,000千円 (地域の移動手段を便利快適になる様バス事業者へ財政支援をする)
- 単独都市計画街路事業費 (栗東市内)** 79,115千円 (近江八幡能登川線・片岡栗東線・下笠下砥山線他)
- 新・トクリュウ対策重点化事業** 162,294千円 (トクリュウ犯罪に対し抑止力強化のため、情報発信や広報啓発の推進、加えて最新資機材等を導入する)
- 県立学校空調 (エアコン) 設備整備事業 (リース料)** 422,775千円 (未設置のエアコン整備 (リース) をする)
- 県立学校トイレ整備事業** 1,081,881千円 (膳所・瀬田工業・彦根翔西館・八幡・湖南農業・信楽の各高校のトイレ改修をする)
- 部活動指導員配置促進事業** 5,697千円 (県立学校に文化部の部活動指導員を配置する)
- 新・文化部活動地域展開推進事業** 4,439千円 (文化部にコーディネーターを配置し地域クラブ活動を推進する)
- 新・文化部活動の地域展開推進事業** 4,598千円 (文化部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進にかかる費用を補助する)
- 新・スポーツ部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業** 3,391千円 (スポーツ部活動にコーディネーターを配置し中学校の部活動を推進する)
- 新・スポーツ部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業** 41,347千円 (県内市町に対し中学校のスポーツ部活動の推進のための経費を補助する)
- 新・学校給食費負担軽減事業** 4,170,917千円 (県内の市町立小学校に対し、給食費用を補助することで、保護者や児童生徒の負担軽減と給食の質の向上を図る)

(※いずれも令和8年3月18日現在に審議中のものです)

『観光と文化・スポーツの組織総合について』

知事・文化スポーツ部長・商工観光労働部長に九里学本会議場で問う



【以下 Q は九里質問 A は県側答弁】 【一部抜粋】

Q…文化スポーツ部と商工観光労働部を新年度から再編するねらいは何ですか。

A…今回の再編は、「観光」「文化芸術」「文化財」「スポーツ」の各施策を有機的に結び付け、それぞれの強みを引き出すことで、連携効果の最大化を狙いとするものです。

本県は、数多くの文化財などを活かした文化観光の推進や国スポ・障スポ等で培ってきたスポーツ分野と観光分野との連携も考慮し「観光文化スポーツ部」を設置することと致しました。

国スポ・障スポ大会を通じて生まれた地域や企業との絆を引き継ぎ、令和9年秋の「デスティネーションキャンペーン」をはじめ、文化観光、スポーツツーリズムなど多様な観光コンテンツの創出に取り組むなど、観光を推進力に文化・スポーツ施策の一層の充実を図り、地域の活性化につなげていきます。

Q…観光施策と文化スポーツ施策を一本化することでのメリットは何でしょうか。

A…これまでから、「文化とスポーツで滋賀を元気にする」との意識を持ち、観光部局とも連携しながら取組を進めてまいりました。

文化、スポーツ、そして観光には、議員お示しのとおり、目的や大切に考える考え方など違いもありますが、「感動をもたらす、人と人との交流を生み、地域の活性化が図れる」といった共通点があります。今回、同じ組織となることで、それぞれが培ってきた資源やノウハウを生かしながら、これまで以上に戦略的に施策の展開が図れるものと考えています。

Q…観光施策と文化スポーツ施策を一本化することでの観光分野のメリットについて伺います。

A…文化やスポーツは、観光における重要なコンテンツであり、同一の部で所管することで、これまで以上に文化・スポーツとの相乗効果を生み出しながら観光施策の推進が図れると考えています。

具体的には、近年の観光ニーズが観光地を単に巡る旅から「コト消費」や「自分らしい旅」に移行するなかで、例えば「体験」あるいは「学び」の要素がより求められるようになっており、本県の歴史や文化に深く触れ合う体験や、スポーツへの参加、健康づくりなどの要素を織り込むことで、観光に新たな付加価値を生み出していけるのではないかと考えています。

また、「ワールドマスターズゲームズ2027 関西」のようなビッグイベントに際しても、内外への魅力発信や一層の誘客につながるよう準備をすすめることで、更なる活性化に繋げていきたいと考えています。

Q…全国47都道府県の統合の現況について伺います。

A…「観光」「文化」「スポーツ」の各分野を同一の部局で統合している都道府県は令和7年4月1日現在で18府県あります。

例えば、岐阜県では、国民文化祭の閉幕を機に組織再編がなされ令和7年度から新たに「観光文化スポーツ部」を設置され、昨年度に国スポ・障スポ大会が開催された佐賀県におきましても、観光・文化・スポーツの各分野を一体的に推進する部局を設置されています。

Q…観光を推進力にした場合の文化スポーツ施策の位置づけはどの様なものになるのでしょうか。

A…本県は、豊かな自然や風土に育まれた祭りや生活文化、さらにはアーティストによる創作や美術館・ホールなどで触れられる先端的な芸術など、多彩な文化が育まれています。

国スポ・障スポ大会を契機に、県民の皆さんがスポーツに親しむ機運が向上するとともに、「滋賀レイクス」や「レイラック滋賀」などプロスポーツの人氣も高まっています。

観光との連携を強化することによって、文化やスポーツの持つ魅力や感動を生み出す力をさらに県内外の多くの方に知っていただくきっかけになるものと考えています。

文化振興や、貴重な文化財の保存・継承、スポーツ振興には今後も継続的にしっかりと取り組んでいき、基金の活用を含め必要な予算の確保にも努め、観光を推進力に、更なる文化・スポーツの振興を図ってまいりたいと考えています。

Q…経済効果や地域活性化につなげるためどんな事業を具体的に始めますか。

A…令和8年度の取組としては、安土城築城450年にあたりますことから、観光キャンペーンと連動した安土城の魅力発信を行いますほか、びわ湖マラソンやワールドマスターズゲームズなどのスポーツイベントを活用した「スポーツツーリズム」の振興など、観光と連携した取組を進めてまいります。

また、中長期的な取組に繋がりますよう、新たに文化・スポーツ関係者や観光事業者を始めとする企業、地域等との連携関係を強化し、文化観光やスポーツツーリズムの一体的な推進など、経済循環や地域活性化につながる仕組みづくりに向けて検討を行うこととしています。

Q…経済効果や地域活性化につなげるためどんな事業を具体的に令和8年度から始められるのか伺います。

A…来年度は、文化ツーリズムの取組で、安土城の築城450年にあわせ、織田信長ゆかりの地や県内に多数存在する城跡等の文化遺跡を巡る、『観光周遊企画』

を予定しています。

また、スポーツツーリズムの取組としては、令和9年5月の「ワールドマスターズゲームズ」開催に向け、本県の魅力ある文化財や食文化などの発信を通じ、国内外からの観客や競技参加者の観光周遊を促してまいりたいと考えています。

加えて、デスティネーションキャンペーンに向けた動きの中でも、現在、推進協議会に関連団体にもご参画をいただいておりますが、その中で文化・スポーツの要素を積極的に取り込んだコンテンツの造成やプロモーションに取り組むことで、経済効果や地域活性化につなげてまいりたいと考えています。

Q…今後、文化スポーツ施設を観光拠点として機能させるための具体的な方向性について伺います。

A…令和9年度に開館予定の新琵琶湖文化館は豊かな文化財を生み出した滋賀の魅力発信し、来館者に県内各地への周遊を促す「ビジターセンター」としての機能を備えることとしています。

現在整備計画中の県立美術館においては、滋賀の多様な文化的資源を発信することで、文化やアートの魅力に着目した周遊観光の促進をしていきます。

国スポ・障スポ大会開催に向けて整備を進めてきたスポーツ施設においては、今後、プロスポーツによる県外誘客の促進でありますとか、大規模大会や合宿誘致など、スポーツツーリズムへの有効活用も検討しています。

議員ご提案の文化・スポーツ施設を拠点として周遊を広げることは重要な視点です。観光と連携してその取組をさらに充実させていきたいと考えています。

Q…文化芸術分野で異なった三分野を束ねることで注意しなければいけないことについて教えてください。

A…文化・スポーツ・観光は、感動をもたらす、人と人との交流を生み、地域の活性化が図れるといった共通点があります。

文化・スポーツ振興による地域活性化や地域の魅力向上が誘客につながり、滋賀の文化・スポーツのファンが増えることで、さらなる文化・スポーツ環境の充実につながるという相乗効果が得られるよう、それぞれ強みを引き出すことに留意しながら、連携を進めてまいりたいと考えています。

Q…では商工観光労働分野で異なった三分野を束ねることで注意しなければいけないことについて伺います。

A…議員からご紹介いただきましたように、文化・スポーツそれぞれに尊重すべき要素があると考えております。観光と一体で進めていくにあたっては、相互理解と連携を通じて、文化やスポーツにもよりよい効果を生み出せるように努めてまいります。

令和8年2月25日 一般質問登壇



QRコードを読み取り
議会内容をご覧下さい



今、ご指摘がございましたが、いわゆる縦割りの弊害が生じないように、経済団体含めて関係団体間の連携などに意を用いてまいりたいと考えています。

Q…専門的な人材の確保・育成の仕組みづくりについて伺います。

A…組織力を最大限発揮していくためには、体制の整備と併せて人材育成を図っていく必要があります。人材の確保・育成は、一朝一夕に進められるものではありませんが、引き続き、専門分野の人材の育成を図っていききたいと考えています。

併せて、観光・文化・スポーツのそれぞれの分野に関わっていただきます団体や関係者も多くおられますことから、こういった方々が有機的に連携し、相乗的に機能する仕組みについて検討する中で、コーディネーター等、必要な人材の確保・育成についてもしっかりと考えていきます。

Q…持続可能性（レガシー）を創出するための今後の運営方針について知事の考えを具体的に伺います。

A…今回の組織改編は、観光・文化芸術・文化財・スポーツの各施策のそれぞれの良さ、強みを磨き、守る、また有機的に結び付けることが目的です。

再編の効果を最大限に発揮できるように、各施策を一体的に推進するためのしくみや体制等についても検討する組織として、令和8年度、新たに観光政策局に「観光文化スポーツ政策室」を設置することにしました。今回、議員から様々なご意見ご提言、一部ご懸念もいただきましたが、ここでの検討の中で、『どのような運営であればより効果的な展開が図れるのか』についても考えてまいりたいと存じます。

昨年、国スポ・障スポ大会における様々な場面でボランティアが活躍していただきました。また、滋賀の魅力も大いに発信することができました。大会を通じて芽生えた取組を継承・発展させ、まさに「レガシー」として取り組むことで、さらなる文化スポーツの振興やシガリズムの進化を図り、地域活性化や「健康しが」の実現につなげられるようしっかりと取り組んでまいりたいと存じます。



栗東市における「まちづくり基本構想(後継プラン)」に係る県の対応について

- 1 後継プランについて
- (1) 概要
 - 県と栗東市は、新幹線新駅計画地の新たなまちづくりに向けた構想の検討を進め、平成21年(2009年)に「まちづくり基本構想(後継プラン)」を策定しました。
 - 県および栗東市は、「後継プラン」に基づき、道路や下水路等の基盤整備を実施するとともに、高い交通利便性を生かしながら企業立地促進に努めてきました。
 - 基盤整備については、令和6年度に最後の道路工事が完了し、これに係る支出を令和7年度に栗東市に対して行い、後継プランで予定していた支出事業はすべて完了した状況です。
 - (2) 取組状況
 - 基盤整備 ● 共同土地利用(企業立地15社) ● まちづくり支援(事業費と分担内訳)
- 計約55.4億円(県支出 約17.3億円、市支出 約18.0億円、国支出 約20.1億円)

4/1 から県組織を総合企画部特定プロジェクト推進室にかえ市民がつよい・憩い・ふれあえる公園整備に対応